

簡易型止水板
浸水被害 ゲリラ豪雨対策 防災用品

Flood Guard F

止水高UP
新シリーズ登場

index

開発にあたり

P1

性能比較

P2

設置と接続方法

P3

製品仕様

P4

Q & A

P7



Flood Guard F は非常に優秀な **止水性能** を有しておりますが万能ではございません。

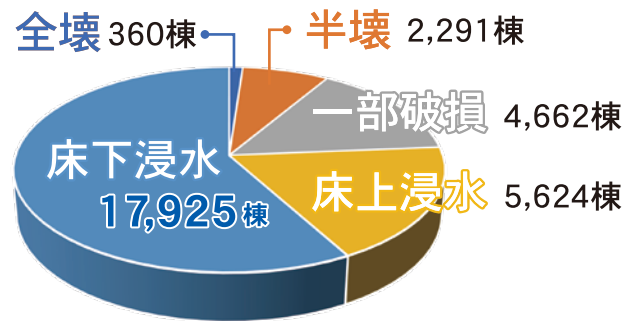
土のう等その他の防災グッズと併用することにより、より万全な治水を実現させます。

Flood Guard F (フロード・ガードF) の必要性と有効性

開発にあたり 近年ゲリラ豪雨や台風の影響で浸水被害が全国的に増加しています。

風水害による被害棟数

特に床下浸水は風水害被害棟数の約60%を占めます。従来からある土のうでは準備に時間がかかり、また女性や年配者では準備・運搬・設置が困難です。そこで誰でも簡単に設置できる床下浸水を防止する「簡易型止水板」を開発することにしました。



※ 総務省消防庁資料(平成29年災害年報)より

非常に軽量で、運搬・設置が容易です。ABS樹脂製の為、強靱な強度があります。使用場所に合わせてサイズを変更でき、未使用時にコンパクトに収納、3Rに対応した製品となっております。またReduce(高い耐久性)・Reuse(再使用)・Recycle(再利用)と環境へ配慮したマテリアルリサイクル製品です。

高潮や**ゲリラ豪雨**等による洪水の床下浸水を防止。
洪水ハザードマップで浸水の可能性のある建築物への対策用品。

特徴

- 軽量でありながら強固なボディ
- 設置が容易で初期動作を迅速に行える
- 繰り返し使えて経済的
- 重ねて収納できるので場所を取らない

Flood Guard F が倒れない原理

- 底面部にかかる水圧で本体を固定します。
- 背面部と底面部に設けたU字加工により水流の圧力を分散させます。
- 底面アンカー部には高摩擦テープを備えており、本体のずれを防ぎます。

性能比較

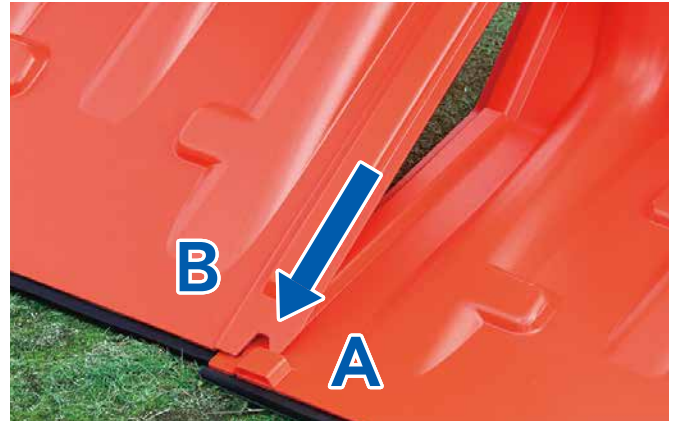
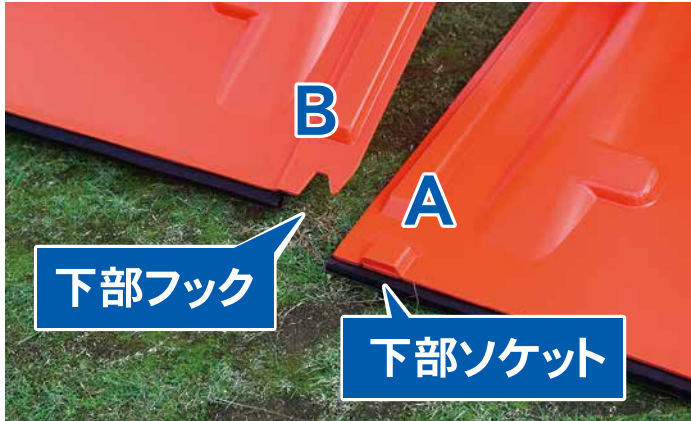


	Flood Guard F	一般的な土のう	吸水土のう
本品以外に必要なもの	不要	土砂・器具	水・容器
運搬	少数なら運搬用具不要。量が多い場合は台車を使用	土砂の運搬をするため、ダンプカーやショベルカー等が必要	給水後は台車等で運搬
迅速性	置くだけで能力を発揮でき初期対応に優れる	土砂の詰め込み作業が必要	水を浸み込ませる作業が必要
設置時間 ※10m設置 下準備除く	1人で5分	2人で4時間(50cm) 2人で6時間(80cm)	2人で4時間(50cm) 2人で6時間(80cm)
耐久性	流されたガレキ等がぶつかっても壊れにくい	流されたガレキ等が当たると破れる可能性が高い	流されたガレキ等が当たると破れる可能性が高い
使用后処理	乾くまで天日干しするかタオル等で本体を拭く。	土砂を取り出し廃棄する処理作業が必要	数日間天日干しし、使用前の状態に戻して焼却処分
再利用	可能 Reuse(リユース)	不可	再利用可能な商品もあるが数回が限度
耐久年数	未使用時 10年 Reduce(リデュース)	紫外線に当たれば1週間、UVカット製品で最長3年	未使用時 5年

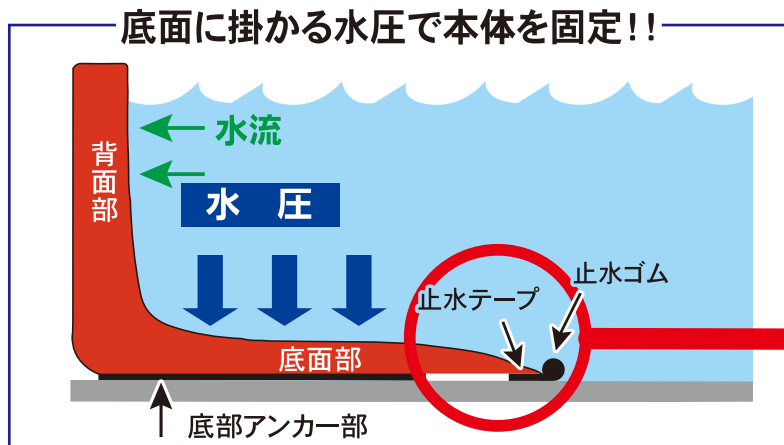
	Flood Guard F		一般的な土のう		吸水土のう	
	FZ50	NEW FZ80	高さ50cm	高さ80cm	高さ50cm	高さ80cm
重量	1台	1台	1袋	1袋	1袋	1袋
	4.4kg	7.7kg	25kg	25kg	15kg	15kg
重量 (10m)	16台	16台	300袋	450袋	200袋	300袋
	70.4kg	123.2kg	7500kg	11250kg	3000kg	4500kg

止水板の設置と接続方法

- 最初に設置場所の確認を行います。
- 石やゴミなどを撤去します。
- 止水したい方向に向かって止水板の背面側に立ちます。
- サイドガードまたはサイドシールを左端に設置します。
- 続けて右側に止水板の必要台数を接続していきます。
- 最後にサイドガード(FG・FGL)またはサイドシール(FS)を右端に設置します。



- 接続方法は《A》の下部ソケットに、次に接続する《B》の下部フックを差し込み《B》を上から下に向かって押さえながら《A》と《B》を連結させ、最後に《キャッチクリップ》でしっかり固定します。
- Flood Guard Fを建築物に設置する場合、基本的にFS(サイドシール)FG・FGL(サイドガード)が必要になります。
※水の流れを変えるなど必要のない場合もあります。
- 設置する場所の周辺に障害物がないかご確認下さい。障害物がある場合、設置出来ない可能性があります。



W止水とは

- epdmスポンジは圧縮されることで止水効果を発揮します。洪水初期は水量が少なく水圧でepdmスポンジを圧縮できず漏水の原因となります。 ※ epdm(エチレンプロピレンジエンゴム)
- Flood Guard Fは底面部前方と側面部などに止水ゴムを配置し洪水初期にも漏水を大幅に軽減させます。

フロード・ガード

新シリーズF80 デビュー



FZ80
サイズ (W×D×H)
705×980×830mm
質量
7.7kg



FZ50
サイズ (W×D×H)
705×700×530mm
質量
4.4kg



FJ50
サイズ (W×D×H)
410×700×530mm
質量
2.7kg

FJL50
サイズ (W×D×H)
530×700×530mm
質量
3.4kg



FJL80
サイズ (W×D×H)
570×990×830mm
質量
4.7kg

内湾曲・外湾曲を使うと
角度付けが可能です。

FN50
サイズ (W×D×H)
(上部)680・(湾曲部)360×700×530mm
質量
3.7kg



FN80
サイズ (W×D×H)
(上部)845・(湾曲部)480×1010×830mm
質量
5.8kg

FW50
サイズ (W×D×H)
(上部)403・(湾曲部)740×700×530mm
質量
3.1kg



FW80
サイズ (W×D×H)
(上部)485・(湾曲部)860×970×830mm
質量
4.3kg

サイズ調整式

FT50
サイズ (W×D×H)
530～610×700×530mm
質量
5.9kg



FT80
サイズ (W×D×H)
560～705×1200×830mm
質量
9.0kg



附属品：止水ゴム



横幅の調整が可能です。

※詳しくはP6または、QRから解説動画をご覧ください。

漏水防止大幅UP! 簡易な設置!

サイドガード

側面が壁の場合、サイドガードの使用をおすすめします。

FG50 R/L
サイズ (W×D×H)
200×700×530mm(R/L共)
質量
4.1kg (R/L共)



FGL50 R/L
サイズ (W×D×H)
260×700×530mm(R/L共)
質量
4.5kg (R/L共)



FG80 R/L
サイズ (W×D×H)
295×990×830mm(R/L共)
質量
9.0kg (R/L共)

FGL80 R/L
サイズ (W×D×H)
420×990×830mm(R/L共)
質量
10.1kg (R/L共)

FGX80
サイズ (W×D×H)
575×990×830mm
質量
15.0kg



サイドシール

止水板背面の壁を利用して止水する場合にサイドシールの使用をおすすめいたします。

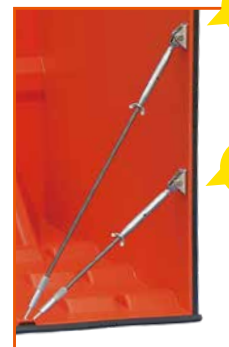
FS50 R/L
サイズ (W×D×H)
140×700×530mm(R/L共)
質量
1.5kg (R/L共)



FS80 R/L
サイズ (W×D×H)
165×990×830mm(R/L共)
質量
2.6kg (R/L共)



サイドガード使用例
※フィッティングバーで
止水力アップ!



F80では、
フィッティングバーが
2本になります。

こんな場所に最適!!



建物の床下
浸水防止



庁舎 公民館の
エントランス

地下鉄駅の
出入り口

地下駐車場の
出入り口 など

※商品仕様などは、予告なしに変更する場合があります。

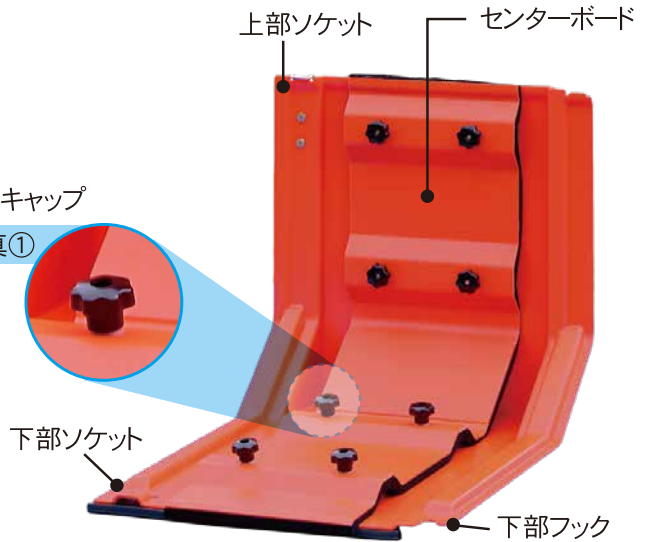
FTについて / 各部名称

Flood Guard Fの調整板「FT」はスライド構造を採用し、微調整が可能。

- ①FTの幅を調整して設置する場合は、固定キャップ 写真① を緩めた後に幅を調整し、固定キャップを締めて固定します。

固定キャップ

写真①



写真②

写真③



- ②幅を調整後本体を裏返し、止水テープ・止水ゴム 写真② を本体の幅でカットして、写真③の黄色枠部分に貼り付けます。

※詳しくは解説動画をご覧ください。



ココが
すごい!

横幅の調整が可能です。(FT50:80mm/FT80:145mm)



全閉状態 (背面)



全開状態 (背面)

設置場所に合せて
サイズ調整可能

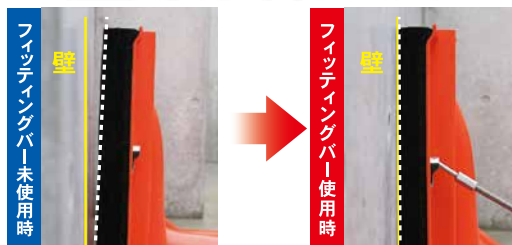


※あらかじめ設置場所での計測が必要です。

フィッティングバーで止水力アップ

突っ張り棒の要領でご使用いただくことにより、止水板と壁との間に隙間をつくらぬ事で、更なる止水効果が期待できます。

※サイドガード・サイドシール共通



フィッティングバー



止水板は両端の壁を使用して浸水を防ぎます。

しかし、地面と壁は直角ではないことも多く、止水板と壁との間に隙間が発生する場合があります。

また、止水板の壁側は底部に比べてかかる水圧が低く、効率的に止水ゴムが圧縮されず水漏れが発生してしまいます。

フィッティングバーで突っ張る事により水漏れを最小限に抑えます。



フロードガードは非常に優秀な止水性能を有しておりますが万能ではございません。強風時や災害状況により土のう等その他防災用品と併用することで、より万全な治水対策が実現可能です。なお、止水ゴムの劣化を抑制するため、高温を避けた場所での保管を推奨致します。

Q-1 どのような時に使用しますか？

A 雨、台風等の浸水被害が発生する前に設置し、被害を抑制する簡易型止水板です。

Q-2 どのように設置、接続しますか？

A サイドガード又はサイドシールを左端に設置し、必要に応じた台数を左側から順に接続していきます。
※左右の判断は、止水板の後ろ側に立ちご確認ください。
詳細は本誌3ページの「止水板の設置と接続方法」をご覧くださいか、QRコードを読み取り、ホームページ内にある取扱説明書の「接続方法」でご確認ください。



Q-3 障害物などがある場合には設置できますか？

A FN(内湾曲板) FW(外湾曲板) を使用する事によりレイアウトが自由自在に可能です。
FN50・FW50共に30度湾曲しているので3台で、
FN80・FW80共に22.5度湾曲しているので4台で90度になります。



▲ FN内湾曲板



▲ FW外湾曲板

Q-4 どのような場所で使用できますか？

A Flood Guard F は固く平坦な路面での使用を想定して設計しております。
設置場所に障害物や段差がないか、事前にご確認ください。

Q-5 台風など強風時の使用は可能ですか？

A 底面部上に水が溜まってない状態で強風が吹くと倒れる恐れがあります。
土のう等の重しを置いて倒れないように設置してください。

Q-6 水漏れはしますか？

A 設置場所や使用の条件により水漏れは生じますが、一般的な土のうに比べ、止水性能は格段に向上します。被害を減少する目的の簡易型止水板ですので完全止水を確保することは出来ません。
漏水対比試験（当社基準）を実施しておりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

Q-7 素材は何で出来ていますか？ また繰り返し使用可能ですか？

A 本体の材質はABS樹脂でマテリアルリサイクル商品です。
Flood Guard F は Reduce(高い耐久性)・Reuse(再使用)
Recycle(廃棄物の発生抑制) 3R製品です。

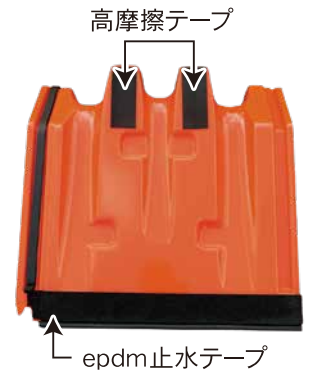


Q-8 ABS樹脂の耐久年数は?

A 未使用の状態では10年、流れてきた漂流物・ガレキ等が衝突するなど使用状況により耐久年数は異なります。

Q-9 止水テープ、高摩擦テープが破損してしまったのですが交換は可能ですか?

A 交換可能です。販売店にお問い合わせ下さい。



Q-10 保管場所はどの程度の広さが必要ですか?

A 種類により重ねることが可能で、FZ(平面止水版)は連結状態でも保管可能です。
 畳1畳あたり43台収納可能 ※FZ50の場合
 製品の劣化を防止するために保管時にはシートなどを被せて下さい。
 連結状態で保管する場合は必ず本体をベルトなどで束ねて固定してください。



Q-11 Flood Guard F の生産地はどこですか?

A 生産は弊社中国工場にて自社製造致しております。

Q-12 試験などはしていますか?

A 自社プールにて止水試験をしております。



当社では、皆様により安心してご使用して頂けますよう、製品の品質向上、耐久性、安全点検などを目的として、試験用プールにて各種試験を実施しております。(※JIS A 4716)

商品裏側のQRコードを読み取ると商品取扱説明書 (PDFデータ) が確認できます。

簡易型止水板
浸水被害 ゲリラ豪雨対策 防災用品

Flood Guard F

止水高UP
新シリーズ登場

index

開発にあたり

P1

性能比較

P2

設置と接続方法

P3

製品仕様

P4

Q & A

P7



Flood Guard F は非常に優秀な **止水性能** を有しておりますが万能ではございません。

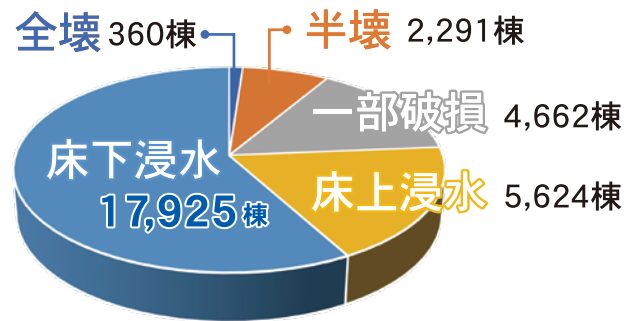
土のう等その他の防災グッズと併用することにより、より万全な治水を実現させます。

Flood Guard F (フロード・ガードF) の必要性と有効性

開発にあたり 近年ゲリラ豪雨や台風の影響で浸水被害が全国的に増加しています。

風水害による被害棟数

特に床下浸水は風水害被害棟数の約60%を占めます。従来からある土のうでは準備に時間がかかり、また女性や年配者では準備・運搬・設置が困難です。そこで誰でも簡単に設置できる床下浸水を防止する「簡易型止水板」を開発することにしました。



※ 総務省消防庁資料(平成29年災害年報)より

非常に軽量で、運搬・設置が容易です。ABS樹脂製の為、強靱な強度があります。使用場所に合わせてサイズを変更でき、未使用時にコンパクトに収納、3Rに対応した製品となっております。またReduce(高い耐久性)・Reuse(再使用)・Recycle(再利用)と環境へ配慮したマテリアルリサイクル製品です。

高潮や**ゲリラ豪雨**等による洪水の床下浸水を防止。
洪水ハザードマップで浸水の可能性のある建築物への対策用品。

特徴

- 軽量でありながら強固なボディ
- 設置が容易で初期動作を迅速に行える
- 繰り返し使えて経済的
- 重ねて収納できるので場所を取らない

Flood Guard F が倒れない原理

- 底面部にかかる水圧で本体を固定します。
- 背面部と底面部に設けたU字加工により水流の圧力を分散させます。
- 底面アンカー部には高摩擦テープを備えており、本体のずれを防ぎます。

性能比較

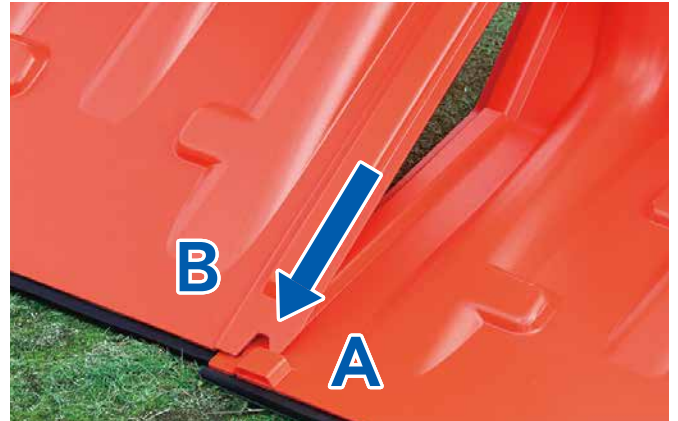
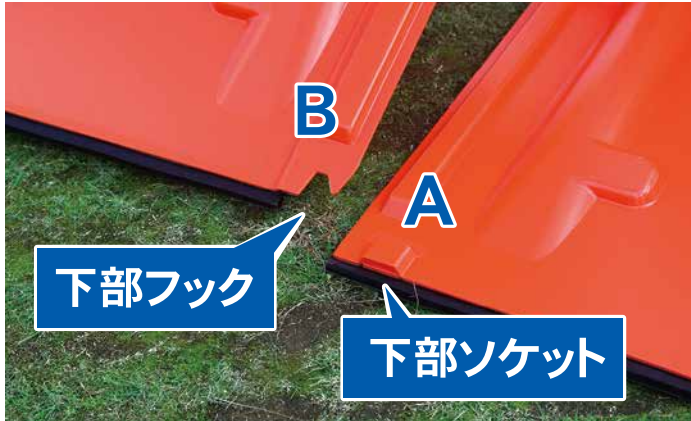


	Flood Guard F	一般的な土のう	吸水土のう
本品以外に必要なもの	不要	土砂・器具	水・容器
運搬	少数なら運搬用具不要。量が多い場合は台車を使用	土砂の運搬をするため、ダンプカーやショベルカー等が必要	給水後は台車等で運搬
迅速性	置くだけで能力を発揮でき初期対応に優れる	土砂の詰め込み作業が必要	水を浸み込ませる作業が必要
設置時間 ※10m設置 下準備除く	1人で5分	2人で4時間(50cm) 2人で6時間(80cm)	2人で4時間(50cm) 2人で6時間(80cm)
耐久性	流されたガレキ等がぶつかっても壊れにくい	流されたガレキ等が当たると破れる可能性が高い	流されたガレキ等が当たると破れる可能性が高い
使用后処理	乾くまで天日干しするかタオル等で本体を拭く。	土砂を取り出し廃棄する処理作業が必要	数日間天日干しし、使用前の状態に戻して焼却処分
再利用	可能 Reuse(リユース)	不可	再利用可能な商品もあるが数回が限度
耐久年数	未使用時 10年 Reduce(リデュース)	紫外線に当たれば1週間、UVカット製品で最長3年	未使用時 5年

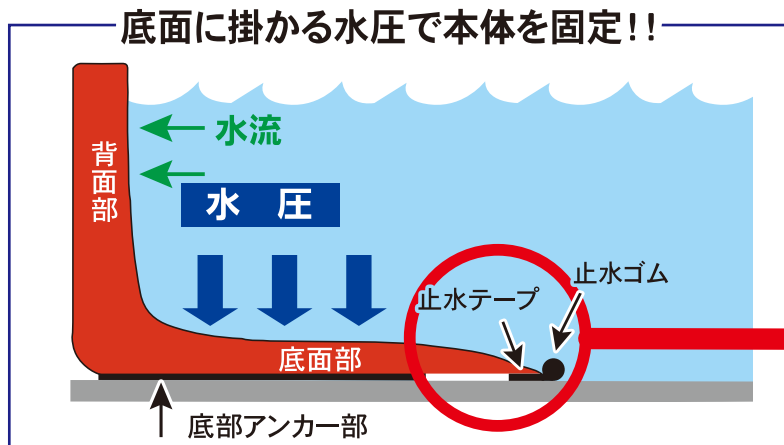
	Flood Guard F		一般的な土のう		吸水土のう	
	FZ50	NEW FZ80	高さ50cm	高さ80cm	高さ50cm	高さ80cm
重量	1台	1台	1袋	1袋	1袋	1袋
	4.4kg	7.7kg	25kg	25kg	15kg	15kg
重量 (10m)	16台	16台	300袋	450袋	200袋	300袋
	70.4kg	123.2kg	7500kg	11250kg	3000kg	4500kg

止水板の設置と接続方法

- 最初に設置場所の確認を行います。
- 石やゴミなどを撤去します。
- 止水したい方向に向かって止水板の背面側に立ちます。
- サイドガードまたはサイドシールを左端に設置します。
- 続けて右側に止水板の必要台数を接続していきます。
- 最後にサイドガード(FG・FGL)またはサイドシール(FS)を右端に設置します。



- 接続方法は《A》の下部ソケットに、次に接続する《B》の下部フックを差し込み《B》を上から下に向かって押さえながら《A》と《B》を連結させ、最後に《キャッチクリップ》でしっかり固定します。
- Flood Guard Fを建築物に設置する場合、基本的にFS(サイドシール)FG・FGL(サイドガード)が必要になります。
※水の流れを変えるなど必要のない場合もあります。
- 設置する場所の周辺に障害物がないかご確認下さい。障害物がある場合、設置出来ない可能性があります。



W止水とは

- epdmスポンジは圧縮されることで止水効果を発揮します。洪水初期は水量が少なく水圧でepdmスポンジを圧縮できず漏水の原因となります。 ※ epdm(エチレンプロピレンジエンゴム)
- Flood Guard Fは底面部前方と側面部などに止水ゴムを配置し洪水初期にも漏水を大幅に軽減させます。

フロード・ガード

新シリーズF80 デビュー



FZ80
サイズ (W×D×H)
705×980×830mm
質量
7.7kg



FZ50
サイズ (W×D×H)
705×700×530mm
質量
4.4kg



FJ50
サイズ (W×D×H)
410×700×530mm
質量
2.7kg

FJL50
サイズ (W×D×H)
530×700×530mm
質量
3.4kg



FJL80
サイズ (W×D×H)
570×990×830mm
質量
4.7kg

内湾曲・外湾曲を使うと
角度付けが可能です。

FN50
サイズ (W×D×H)
(上部)680・(湾曲部)360×700×530mm
質量
3.7kg



FN80
サイズ (W×D×H)
(上部)845・(湾曲部)480×1010×830mm
質量
5.8kg

FW50
サイズ (W×D×H)
(上部)403・(湾曲部)740×700×530mm
質量
3.1kg



FW80
サイズ (W×D×H)
(上部)485・(湾曲部)860×970×830mm
質量
4.3kg

サイズ調整式

FT50
サイズ (W×D×H)
530~610×700×530mm
質量
5.9kg



FT80
サイズ (W×D×H)
560~705×1200×830mm
質量
9.0kg

附属品：止水ゴム



横幅の調整が可能です。

※詳しくはP6または、QRから解説動画をご覧ください。

漏水防止大幅UP! 簡易な設置!

サイドガード

側面が壁の場合、サイドガードの使用をおすすめします。

FG50 R/L
サイズ (W×D×H)
200×700×530mm(R/L共)
質量
4.1kg (R/L共)



FGL50 R/L
サイズ (W×D×H)
260×700×530mm(R/L共)
質量
4.5kg (R/L共)



FG80 R/L
サイズ (W×D×H)
295×990×830mm(R/L共)
質量
9.0kg (R/L共)

FGL80 R/L
サイズ (W×D×H)
420×990×830mm(R/L共)
質量
10.1kg (R/L共)

FGX80
サイズ (W×D×H)
575×990×830mm
質量
15.0kg



サイドシール

止水板背面の壁を利用して止水する場合にサイドシールの使用をおすすめいたします。

FS50 R/L
サイズ (W×D×H)
140×700×530mm(R/L共)
質量
1.5kg (R/L共)



FS80 R/L
サイズ (W×D×H)
165×990×830mm(R/L共)
質量
2.6kg (R/L共)



サイドガード使用例
※フィッティングバーで
止水力アップ!



F80では、
フィッティングバーが
2本になります。

こんな場所に最適!!



建物の床下
浸水防止



庁舎 公民館の
エントランス

地下鉄駅の
出入り口

地下駐車場の
出入り口 など

※商品仕様などは、予告なしに変更する場合があります。

FTについて / 各部名称

Flood Guard Fの調整板「FT」はスライド構造を採用し、微調整が可能。

- ①FTの幅を調整して設置する場合は、固定キャップ 写真① を緩めた後に幅を調整し、固定キャップを締めて固定します。

固定キャップ

写真①

下部ソケット

上部ソケット

センターボード

下部フック



写真②



写真③

- ②幅を調整後本体を裏返し、止水テープ・止水ゴム 写真② を本体の幅でカットして、写真③の黄色枠部分に貼り付けます。

※詳しくは解説動画をご覧ください。



ココが
すごい!

横幅の調整が可能です。(FT50:80mm/FT80:145mm)



全閉状態 (背面)



全開状態 (背面)

設置場所に合せて
サイズ調整可能



※あらかじめ設置場所での計測が必要です。

フィッティングバーで止水力アップ

突っ張り棒の要領でご使用いただくことにより、止水板と壁との間に隙間をつくらぬ事で、更なる止水効果が期待できます。

※サイドガード・サイドシール共通



フィッティングバー



止水板は両端の壁を使用して浸水を防ぎます。

しかし、地面と壁は直角ではないことも多く、止水板と壁との間に隙間が発生する場合があります。

また、止水板の壁側は底部に比べてかかる水圧が低く、効率的に止水ゴムが圧縮されず水漏れが発生してしまいます。

フィッティングバーで突っ張る事により水漏れを最小限に抑えます。



フロードガードは非常に優秀な止水性能を有しておりますが万能ではございません。強風時や災害状況により土のう等その他防災用品と併用することで、より万全な治水対策が実現可能です。なお、止水ゴムの劣化を抑制するため、高温を避けた場所での保管を推奨致します。

Q-1 どのような時に使用しますか？

A 雨、台風等の浸水被害が発生する前に設置し、被害を抑制する簡易型止水板です。

Q-2 どのように設置、接続しますか？

A サイドガード又はサイドシールを左端に設置し、必要に応じた台数を左側から順に接続していきます。
※左右の判断は、止水板の後ろ側に立ちご確認ください。
詳細は本誌3ページの「止水板の設置と接続方法」をご覧くださいか、QRコードを読み取り、ホームページ内にある取扱説明書の「接続方法」でご確認ください。



Q-3 障害物などがある場合には設置できますか？

A FN(内湾曲板) FW(外湾曲板) を使用する事によりレイアウトが自由自在に可能です。
FN50・FW50共に30度湾曲しているため3台で、
FN80・FW80共に22.5度湾曲しているため4台で90度になります。



▲ FN内湾曲板



▲ FW外湾曲板

Q-4 どのような場所で使用できますか？

A Flood Guard F は固く平坦な路面での使用を想定して設計しております。
設置場所に障害物や段差がないか、事前にご確認ください。

Q-5 台風など強風時の使用は可能ですか？

A 底面部上に水が溜まっていない状態で強風が吹くと倒れる恐れがあります。
土のう等の重しを置いて倒れないように設置してください。

Q-6 水漏れはしますか？

A 設置場所や使用の条件により水漏れは生じますが、一般的な土のうに比べ、止水性能は格段に向上します。被害を減少する目的の簡易型止水板ですので完全止水を確保することは出来ません。
漏水対比試験（当社基準）を実施しておりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

Q-7 素材は何で出来ていますか？ また繰り返し使用可能ですか？

A 本体の材質はABS樹脂でマテリアルリサイクル商品です。
Flood Guard F は Reduce(高い耐久性)・Reuse(再使用)
Recycle(廃棄物の発生抑制) 3R製品です。

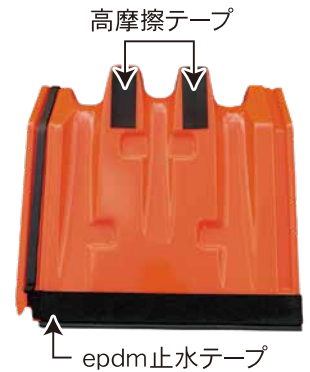


Q-8 ABS樹脂の耐久年数は？

A 未使用の状態では10年、流れてきた漂流物・ガレキ等が衝突するなど使用状況により耐久年数は異なります。

Q-9 止水テープ、高摩擦テープが破損してしまったのですが交換は可能ですか？

A 交換可能です。販売店にお問い合わせ下さい。



Q-10 保管場所はどの程度の広さが必要ですか？

A 種類により重ねることが可能で、FZ(平面止水版)は連結状態でも保管可能です。
 畳1畳あたり43台収納可能 ※FZ50の場合
 製品の劣化を防止するために保管時にはシートなどを被せて下さい。
 連結状態で保管する場合は必ず本体をベルトなどで束ねて固定してください。



Q-11 Flood Guard F の生産地はどこですか？

A 生産は弊社中国工場にて自社製造致しております。

Q-12 試験などはしていますか？

A 自社プールにて止水試験をしております。



当社では、皆様により安心してご使用して頂けますよう、製品の品質向上、耐久性、安全点検などを目的として、試験用プールにて各種試験を実施しております。(※JIS A 4716)

商品裏側のQRコードを読み取ると商品取扱説明書 (PDFデータ) が確認できます。